

# 稲グリ新聞

発行 早大グリーンクラブ  
編集 田中弘文 原信二郎  
編 穎原信二郎  
(毎月1回発行)

第四回 東西四大学のB合唱演奏会

## 日本一のホールで競演しよう

東京地区マネージャー会開催へ清水マネ

七月三日(日)大阪でのオールド連のB演奏会に向けて、東京地区の四団体マネージャー会議が二月一四日(月)新宿住友ビル5階の「町内会」で開かれた。出席者次の通り。

- 新月会 杉本氏(36) 山本氏(45)
- クロバー 橋氏(31)
- ワグネル 吉川氏(52) 藤原氏(55)
- 稲グリ 清水マネ(40)

佐藤(陶)サマネ(41)

換会合わせの後、幹事団体の新月会の杉本氏を中心として会は進められ、スケジュール各団体の分担事項等の確認がなされた。

各団体とも、日本一とも、いや世界一のホールともいわれる朝日放送ザ・シンフォニーホールでの演奏に胸を躍らせており、あと四ヶ月後に迫

ちなみに新月会では二名のオンステを目撃したこと。へ朝日放送ザ・シンフォニーホールへ大阪市大淀区ABCセンター内客席数一七〇二席三階までアリナ形式舞台(後にも客席有)何と残響二秒。日本一のホールか有

二月の練習(毎水曜) 神田フレール館(時30分) 二月の練習出席状況は別表の通り。各パートとも大体5名のレベルにまでは達した。若い指揮者(川元君6卒)が燃えています。各パート10名計40名レベルの出席が得られれば日本一の練習ができるのになあというも思う。

### 二月の練習(毎水曜)

神田フレール館(時30分)

各パートとも、日本一とも、いや世界一のホールともいわれる朝日放送ザ・シンフォニーホールでの演奏に胸を躍らせており、あと四ヶ月後に迫

各パートとも、日本一とも、いや世界一のホールともいわれる朝日放送ザ・シンフォニーホールでの演奏に胸を躍らせており、あと四ヶ月後に迫

各パートとも、日本一とも、いや世界一のホールともいわれる朝日放送ザ・シンフォニーホールでの演奏に胸を躍らせており、あと四ヶ月後に迫

### 会費徴収

運営幹事会では本年一月よりOB会会費徴収の作業を進めていますが、二月二十八日現在、A会員約五〇名、B会員約二〇名が登録を終えました。今号でも重ねて必要書類を同封しましたので、未登録の会員には至急手続きをとうれるようお願いいたします。

幹事長

合宿 六月四(土)五(日) 川口湖畔

地獄の特訓はやがて随書の涙へ。 合宿担当マネージャー

39、B之根本(38)諸氏の一層の奮起を期待したい。

	2/2	9	16	23
トップ	4	6	5	6
セカンド	4	4	6	5
バリトン	3	6	7	6
ベース	3	5	3	4
	14	21	21	21



## ボニージャックスは今年25歳を迎えました

### ボニージャックス25周年記念行事

- 5月20日(金) 仙台電力ホール
- 6月4日(土) 埼玉会館大ホール
- 6月10日(金) 東京厚生年金会館
- 8月5日(金) 神奈川県民ホール
- 9月20日(火) 大阪厚生年金会館
- 全国70ヶ所予定-----

アメリカツアー  
ボニージャックス  
世界の子供と歌う

8月18日(木)~25日(木)  
ロスアンゼルス、ホノルル  
..... 参加者募集中 .....

### レコード

早稲田文学の集大成

歌いつがれる日本の詩情  
—早稲田の杜の詩人たち—

○城ヶ島の雨/赤とんぼ/この道/宵待草/カチューシャの唄/ゴンドラの唄/恋はやさし野辺の花よ/ちいさい秋みつけた/遠くへ行きたい/知床旅情/もすが柏木で/はるかな友に (他全44曲)

○北原白秋、野口雨情、西条八十、三木露風、竹久夢二、島崎藤村、サトウハチロー、磯部徹 (全18人)

3枚組アルバム・豪華装幀本付 ¥11,000



<お問い合わせ・お申し込み>

〒102 東京都千代田区麹町2-3 麹町ガーデンビル5-c

(株)ニュー西北エンタープライズ ☎03(239)0309

# ユニークな「冬の旅」

## 岡村喬生バス独唱会

二月一七日夜、我等の先輩岡村喬生さんの恒例の「冬の旅」リサイタルが折しも降りしきる雪の中、上野文化会館小ホールで行われました。

毎年、ピアノを変えて演奏するというユニークな試みで、今回は霧生トシ子さん。彼女の明快でダイナミックなタッチにのって、力強く、若々しい「冬の旅」でした。

演奏会終了後の打ち上げパーティ

### 第三二回

## 早大グリークラブ

## 送別演奏会

二月一八日(金)、現役グリー送別演奏会が、調布グリーホールで開かれた。

送別演奏会というとは、何か

いずれにしても、この企画現役合同で「グリー愛唱歌」をいつまでも続けて、更に完結(オI)ステイジは、卒業生と、成度をも高めて欲しいと思いま賛助出演の日本女子大、聖心女子大、共立女子大との混声合唱で「心の四季」(オII)ステイジは、卒業生による「思いの名曲集」(オIII)ステイジは、現役のみで「今でも...」もジンとくる感じ。

昭和二五年は卒業生少なくて送別演奏会開かれず、四年には学園紛争で開かれたいないから、今年がオ三二回に当たるのは正しい。

橋不深身(必)記

井後兼氏、帆足正喜氏等いおれも尺量のようにな幕われ、最後のステイジ「God Bless You...」で送る方も送られ、あの光景は今想い出して

昭和二五年は卒業生少なくて送別演奏会開かれず、四年には学園紛争で開かれたいないから、今年がオ三二回に当たるのは正しい。

橋不深身(必)記

世界を、永く

三月一三日 新潮社刊

いわむと知れた豪快先輩岡村喬生(29)氏の半生記とのこと。

多忙の中で「帰国して四年目、そろそろ自分のやってきたことを表にでもまとめておこう」と思ったら出版の話があった。それに乗っただけとはいつもの岡村さんらしくないケンソン。編集を

早稲田の杜を、というよりグリーの部室を築立ち、ボニージャックスを結成して今年ではや25年、みなさまのおかげです。

二十五周年の行事に際しては、前号や、今号の我々のPR欄でも紹介の通りですが、何といつても目玉は句歌いつがれる日本の詩情——早稲田の杜の詩人たちという、P三枚と豪華本のセットです。

おかげさまでボニー25歳

## 稲グリとの絆をまっとう強く

### ボニージャックス

これを聴いていただければ、如何に明治から今日に至る日本の歌が、早稲田文学のゆかり年金会館です。

この企画を中心に今年全

これを機に大学ともアマチュア合唱団ともまっとうたいパイクを作りたいのです。

その両方の要である稲グリに今年はいろいろお世話になります。よろしく。

この企画は単なる二十五周年のお祭りに止まらず、これから五年計画でボニーが取り組む、日本の歌の語り部となるべく、これをいろいろな角度から追求する計画の狼煙でもあります。

一層の支援を、そしてどしどしご意見を！(玉田記)